



まるお

<道しるべ>

言葉で人生が変わる

『あたりまえ』を

『ありがとう』と言うのが『感謝』

『なりたいな』を

『なっつやる』と言うのが『決意』

『もういいや』を

『まだ待とう』というのが『忍耐』

『疲れたな』を

『頑張った』と言うのが『努力』

『もうだめだ』を

『これからだ』と言うのが『希望』

言葉を変えると人生が変わる

<学校教育目標>

自ら学び 自他を尊重し
心豊かでたくましい生徒の育成

<重点目標(スローガン)>

感謝+優しさ=笑顔と幸せへの道

発行：長崎市立丸尾中学校

文責：校長 川口 猛

令和8年7月10日(金) NO15

性教育講座から学ぶ『命の尊さ』『一人一人の尊さ』

第3学年対象 性教育講座から

7月7日(火)七夕の日、第3学年を対象に性教育講座が開催されました。講義と、赤ちゃん・幼児との触れ合いで、生徒たちも、普段の教室では見せることがない笑顔で講座を受講しました。妊娠・性感染症・避妊・出産などについて、わかりやすい説明を聞き、相手を、一人一人を大切にすることを育成するのが、性教育だということを改めて知らされました。

講義の中で、ドラマの一場面が流されました。「コウノドリ」というドラマですが、中学2年生の妊娠と出産、出産後の子供をどうするかを選択や養子縁組をする決断などドラマのラストで流す父親となった少年、母親となった少女の涙は深く考えさせられる涙でした。出産をし、子どもを育てることが、どれだけ重い責任を負うことか、また、「経済的負担を負う」ということを改めて考えさせられました。

その後、生徒たちは、生後3か月の赤ちゃん、まだ歩くまでには至っていない赤ちゃんをだっこしたり、活発に動き回れる幼児とふれあいました。生後3か月の赤ちゃんを抱くまでは、不安な表情でしたが、抱くとこれまで見せたことがないような笑顔で愛らしく赤ちゃんを見つめていました。幼児を相手にふれあう場面では、童心に戻って子供と触れ合い、笑顔が絶えませんでした。

子どもの力というのは、中学生も含めて、人の心を動かす魅力があります。子どもは、社会の宝と言いますが、その宝物を、大人は、大事に伸ばしていかなければならない責任を負っているなど改めて感じました。

私にも子どもが3人いて、27歳の長男、22歳の長女、17歳の次男です。長男が生まれたときは、お風呂に入れるときに、背中向けに体を回転させるのが怖くてお風呂に入れてました。また、感染性嘔吐下痢症になった時には、子どもが吐しゃ物で喉を詰まらせてはいけないと思い、青のビニールシートを敷き、その上で抱っこしながら、息子の嘔吐物を全身に浴び、結局そのあと自身も感染しました。大きな病気をした時には、

は、自分が息子の代わりになってかまわないから、『神様、どうか息子を助けてください』と思ったものです。長女の出産のときには、一人目が帝王切開だったので、同じく帝王切開でしたが、出血が多かったのか、看護師さんたちがバタバタしていたことを覚えています。3人目の時は、上の2人が帝王切開だったので、もしかすると、妊娠末期に、おなか破裂するかもしれないと医師からいわれ、妻も命がけで、3人目を生みました。末っ子だけに、今は溺愛されています。

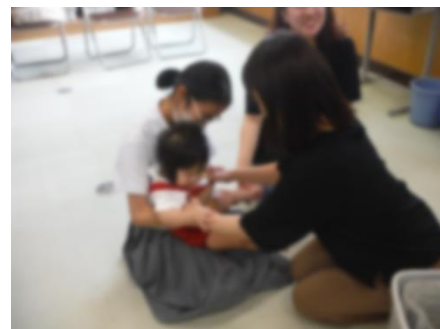
育児の時には、ミルクをやってゲップを出させて、肩のところがミルクだらけになったり、ウンチをしたおむつを替えたり、お風呂の中で温めていると、気持ちよくなったのか、『ブリブリ』という音が出て、お風呂の中でうんちをしてしまったり、発熱で泣く子を抱っこしてあやしたり、夜泣きをして、泣き止むまで抱っこして、寝かせたらまた泣いて……。今になってみると、あの頃は、必死だったけど今になると幸せな時間だったなと思います。私事ですみません。皆さんも、親の苦勞なしには、ここまで大きく成長はできなかったのです。親孝行できてますか？親への感謝忘れないでほしいと思います。

性教育講座を通して、再び、『命』を生徒とともに学習することができました。貴重な時間でした。その時の写真をご紹介します。



講師の先生方です

講師の方々です。



生活アンケートの結果から

先日行った生活アンケートの結果が集約されました。その結果の中で、気になることはたくさんあるのですが、その中で、特に、睡眠時間が十分に取れていないことに驚いています。「昨日何時に寝ましたか」という質問で、1年生の中に0時以降、1時以降に寝たという人がいました。2年生になると、0時以降、1時以降の割合がさらに増え、0時～1時が18%、1時以降が9.1%です。3年生は、0時～1時までが16.7%、1時以降が8.3%となっています。学習時間以外にメディアを使用した時間の調査結果で一番割合が多かったものを紹介します。1年生は2時間以上～4時間未満が55%、2年生は、0時間～2時間未満が36.4%、3年生は、2時間以上～4時間未満が50%でした。メディアを寝る前に使用すると、快適な睡眠がとれないという弊害や当然睡眠時間が減ってしまうこと、そして、学習時間も減ってしまうことは明白です。「寝る」ことは大変大切です。体の調子、心の調子、心と体のバランスをとったり、脳の休憩時間につながるからです。私は、不眠症となって、寝れなくなり、投薬をして寝るようになりました。ぐっすり寝た感じがいまだにほとんどありません。

メディアはほどほどにして、やらねばならぬことをさっと済ませ、すやすや寝ることを求めたいです。赤ちゃんの成長が早いのは知っているでしょう。それは、よく寝るからです。……